

美濃和紙 PR で大英博物館の専門家からも絶賛の声 ～ロンドン事務所における美濃市活動支援事例～

ロンドン事務所

北ウェールズのルーシンにあるルーシンクラフトセンターにおいて平成 24 年 4 月 1 日から 6 月 24 日まで「日本のスタイル：持続可能なデザイン」展が開催され、その展示会に美濃和紙素材を提供した関係で岐阜県美濃市から加納副市長、渡辺産業振興部長、紙すき職人の長谷川聡さんが来英されることとなりました。今回、美濃和紙 600 枚を提供した紙すき職人の長谷川さんが同行されるため、ロンドンにおいてもイベントを開催し、現地の方々に美濃和紙を紹介する機会が得られないかとクリアロンドン事務所に相談がありました。ルーシンクラフトセンターから直接の依頼を受け彫刻的空間を施すために膨大な美濃和紙を提供した美濃市の、この日本の伝統工芸技法を是非知ってもらわねば、と活動支援に取り組んだ次第です。

大反響のセミナー

～参加者からは「美濃市を訪れたい」の声～

開催までの期間が限られていたこともあり、単独セミナーを開くにはどうしたものかと、当事務所の鹿野所長補佐（当時、岐阜県派遣）が日本文化の紹介イベントを開催した実績のある幾つかの在英機関に相談しました。その結果、大和日英基金(The Daiwa Anglo-Japanese Foundation)に御協力いただけることとなり、平成 24 年 4 月 2 日に大和日英基金ジャパンハウス（ロンドン）において、美濃和紙の魅力を伝えるセミナー「アピール・オブ・美濃和紙」を開催する運びとなりました。



美濃市加納副市長から美濃市紹介



セミナーでは著名機関の方々を含めた多くの来場者が熱心に聴講

セミナーの開催支援の報告に当たって、最初にお伝えしておきたいのは、このセミナーが大成功に終わったということです。世界的にも有名な大英博物館やテート・モダンの絵画修復士から絶賛を受け、他の多くの参加者からは「美濃市を訪れたい」と言わしめていました。

美濃市からの相談は「ロンドンにおいて美濃和紙紹介の機会を得られないか」と企画段階から始まりました。このように準備は手探りの状態からでしたが、大和日英基金の持つネットワークや専門的知見に助けられるとともに、何より「誇るべき美濃和紙を英国の方々に何とか知っていただきたい」という美濃市の強い思いがセミ

ナーを大成功に導いたのだと思います。また、事務所としてもこうした地域の思いを実現する上で、小さなことから相談いただき、それを支援できたのが非常に嬉しく思うところです。

英国のツボを押さえた企画・広報 ～大和日英基金の協力～

開催案内にあたり、大和日英基金は、英国では環境配慮型思考への傾向が見られることや、職人に対する畏敬の念が強いといった実情を踏まえて、どういった人をターゲットにする必要があるか、どういうことを伝えたいかを検討され、英国において和紙が絵画の修復に使われていることまで調べて、著名な美術館の絵画修復士の方々にも声をかけて下さいました。結果、美濃市さんの集客の心配をよそに定員の 1.5 倍を超えるほどの申込があり、ビデオ放映による第二会場の準備までしていただく盛況となりました。

クレア事務所を上手に活用して万端の準備

セミナー準備段階では当事務所のスペースを活用していただき、配布資料等を講演内容の検討の進捗に応じ数回に分けてお預かりし、メインとなる美濃和紙もセミナーに合わせて準備することができました。当日も、事前に資料等を把握させていただいていたので、会場にて効果的に画像を流し、御紹介できたと思います。当日の会場での準備等のお手伝いもさせていただきましたが、渡英できる美濃市の関係者も限られている中、こ



美濃和紙を実際に見て感嘆するセミナー参加者

うした人的サポートも喜んでいただきました。当事務所で御紹介した通訳の方も、内容を的確に説明し、セミナー後のレセプションでは熱心な英国人の質問に、解りやすい回答を機敏に返してくれていました。

さらには、当事務所から在英日本紙記者に事前に連絡しておいたことで、日本において新聞で地方版に掲載され、岐阜県の方々にも美濃和紙が海外で高評価されていることを知ってもらえたと、とても喜んでいただけました。

担当として感じたこと ～小さなことでも「きっかけ」を活かせば～

この度の美濃市海外活動支援に関わらせていただく中で、小さなことから相談に乗ることの大切さや、当地の他機関とのネットワークを生かしつつプロの目線の助言や協力をいただきながら、ポリシーを持ってタイムリーなメッセージを伝えることができるように間をつないでいくことの重要性を改めて実感しました。そうした結果、日本の地域のすばらしさを海外において伝えることが可能であり、それはどんな小さなことからでもきっかけを的確にとらえれば可能だということを学ぶことができました。このような活動にクレアが一助となれた、私個人にも大変勉強になった、とても素敵な海外活動支援であったと思います。

(栗田所長補佐 徳島県派遣)

美濃市の英国でのプロモーション活動の様子は『自治体国際化フォーラム』9月号に掲載しています。

「美濃和紙の魅力を伝える英国プロモーション」

→ http://www.clair.or.jp/j/forum/forum/pdf_275/09_katuyou01.pdf

